

 **川崎小学校** 149年の歩み。ありがとう、川崎小学校！

川崎小学校は、明治6年に館ノ川長興寺を<sup>せきぜんかん</sup>責善館と称し創立され、幾度となく名称を変えながら、昭和62年に現在地に新校舎を竣工。今日に至るまで、川崎城下の恵まれた自然の中で、地域の教育文化活動の拠点として、地域とともに歩んできました。そして

令和5年3月31日をもって、総勢4,976人の卒業生を送り出し、その歴史に幕を閉じました。教育目標は、『自分らしさを発揮し、たくましく生きる「川崎っ子」』。築き上げてきた歴史と伝統は、川崎っ子精神とともに地域に根付き、これからも引き継がれていきます。



学校長  
増淵 直嗣さん

素晴らしい教育環境のもと小規模校ならではの教育活動を行ってきました。また、地域の皆様にも支えられ、児童の「心と体」を育んできました。本校の教育活動が絶えてしまうのは残念ですが、児童には勉強と自己実現の努力を重ね、地域に貢献する人材となり故郷に戻って来ることを願っています。



閉校記念事業実行委員会  
実行委員長  
大谷 清さん

母校の閉校は心にぽっかりと穴が開くような寂しい思いです。今は児童一人ひとりの未来を信じ、地域住民として最後まで見守ろうとの決意です。先生方や友人と過ごすことに自信と誇りをもち、新しい学校においてもさまざまな場面で大いに活躍することを願っています。



児童代表（5年）  
五月女 麗さん

わたしは、川崎小学校が閉校してしまうことが、とても寂しいです。でも、特に今年は全校生でたくさんの思い出が作れました。どの行事も、とても楽しかったです。矢板小学校に行っても、たくさん友達を作り、勉強をがんばりたいと思います。川崎小学校、今までありがとう。ずっと忘れないよ。



**泉中学校** すべてにありがとう、我らの泉中学校！

泉中学校は、昭和22年に泉村立泉中学校として開校し、町村合併を経て、昭和33年11月の市制施行により現在の「泉中学校」となりました。その後は、地域に愛され、地域とともにある中学校として、一人ひとりの良さを伸ばし、ふるさとを愛する心と豊かな心、自ら

学ぶ力を育て、社会の中でたくましく生きる生徒を送り出してきました。そして令和5年3月31日、6,184人の卒業生を送り出し、その歴史に幕を閉じました。閉校後は、公共施設として生まれ変わり、令和6年4月より、泉地区の新たなシンボルとして歴史を刻み始めます。



学校長  
齋藤 孝浩さん

泉中学校は、素直で優しい心を持ち、礼儀正しい生徒たちを育んできました。地域の方たちは協力的で、子どもたちへの思いやりに溢れ、「地域の力によって子どもたちが育まれる理想の姿」がここにはあります。本校は閉校になりますが、泉地区が子どもたちの成長を促す場であり続けて欲しいと思います。



閉校記念事業実行委員会  
実行委員長  
吉田 優一さん

創立76年。半世紀以上にわたり、地域の皆様に愛されてきた泉中学校。私もこの学校を卒業した一人で、寂しい限りです。子ども達にとってここで培った経験は、何事にも代えがたい財産となり、未来へと活かされることでしょう。最後に、泉中学校を支えてくださった全ての皆様に感謝を申し上げます。



生徒代表  
伊東 ひなさん

今年1年、先生方や地域・保護者の皆様のおかげで、たくさんの行事に挑戦することができました。私は生徒会長を務めてきましたが、泉中学校は思いやりのある温かい人に囲まれていると実感しています。これまで支えてくださった全ての人に感謝します。最後に、ありがとう、泉中学校。